



## 教材・教具 紹介用紙

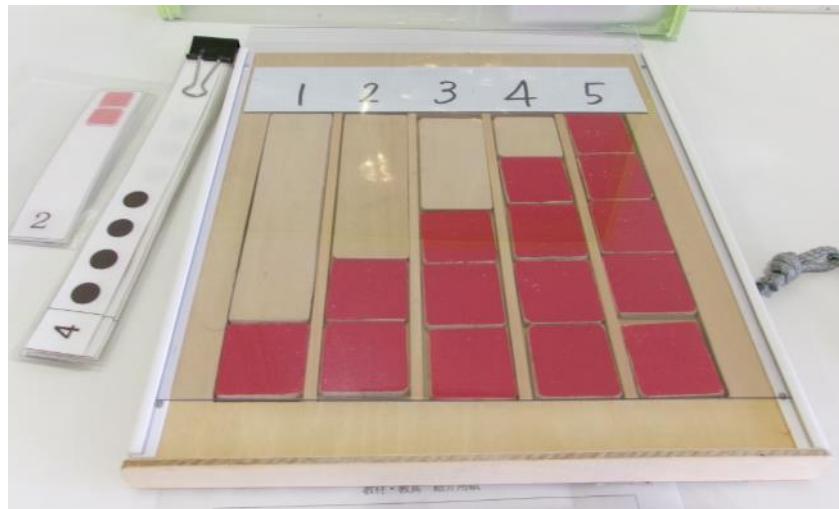
団体名 : 小・中・A・B・有馬・相模向陽館 6年 グループ 作業班 その他

教材の名称 : 平面から立体へ

使用目的 : 色のマッチング、形のマッチング、手指の巧緻性を高める

教材の説明 : (効果が認められた点、工夫した点、その他)

- ・平面図から色・形を理解して、部品を木枠に立てていく。
- ・いきなり立てていくことが難しい場合は、最初に平面図の上に部品を置いて向きを確かめさせてから順番に立てていけるようにした。



## 教材・教具 紹介用紙

団体名 : ・中・A・B・有馬・相模向陽館 6年 グループ 作業班 その他

教材の名称 : 1～5の数あわせ

使用目的 : 数字と個数のマッチング

教材の説明 : (効果が認められた点、工夫した点、その他)

- ・白いマグネットシートに数字を書き、その数のチップを型にはめていく。
- また、赤いチップの数をかぞえ、正しい数字を書いたり、マグネット（数字）をはったりする。
- ・1～5の概念がまだ定着していない場合、ヒントカードを見ながら、一緒に数をかぞえ、チップをあてはめていく。



## 教材・教具 紹介用紙

団体名 : 小・中・A・B・有馬・相模向陽館 1・2年 グループ 作業班 その他

教材の名称 : カタカタ・ドミノ

使用目的 : 安定した注意反応を引き出す

教材の説明 : (効果が認められた点、工夫した点、その他)

木材のザラザラとした感触を味わったり、鈴が鳴る音を聴いたりして、様々な感覚を活用しながら注意を向けられるようにした。

鈴が鳴る音が聞こえると、目を見開いたり、手足を動かそうとして反応する様子が見られた。



## 教材・教具 紹介用紙

団体名：小・中・A・B・有馬・相模向陽館 2・3年 グループ 作業班 その他

教材の名称： 変わりパラバルーン

使用目的：季節の音楽に合わせて布をパラバルーンのように動かし、曲を感じて楽しむ

教材の説明：(効果が認められた点、工夫した点、その他)

- ・季節ごとの曲に合わせて、貼り付けるものを変えるようした。
- ・生徒だけの力でも外せるよう、粘着力が弱いベルクロを探した。
- ・肌に当たっても心地良い柔らかい素材で、汚れても洗えるものを選んだ。



## 教材・教具 紹介用紙

団体名：小・中・A・B・有馬・相模向陽館 2・3年 グループ 作業班 その他

教材の名称： ホールドバンド

使用目的： 楽器等、握る時の補助

教材の説明：(効果が認められた点、工夫した点、その他)

- ・握る力が弱い生徒が、自分の力だけで楽器（シェイカー）を持てるようにした。
- ・締め付けられている感じがないように、なるべく柔らかい素材で、手全体を包めるようにした。
- ・教員の手添えなしで、生徒の動きで楽器演奏をすることができた。



## 教材・教具 紹介用紙

団体名：小・中  A B・有馬・相模向陽館 3年 グループ 作業班 その他

教材の名称： はてなボックス（フィルム貼り付き）

使用目的： 手を突っ込むのが苦手な方が、つかむものを確認しながら、手を突っ込むことができる。

教材の説明：（効果が認められた点、工夫した点、その他）

中身が何も見えない状態の箱だった時、手を突っ込むのに抵抗があった生徒が、中身を見ながら（興味のあるものには、）手を突っ込んで感触を楽しんだり、引っ張り出したりすることができるようになってきた。



## 教材・教具 紹介用紙

団体名：小・中・Ⓐ・Ⓑ・有馬・相模向陽館  学部 グループ 作業班 その他

教材の名称： あたまグルグル

使用目的： LHR (集会活動)

教材の説明：(効果が認められた点、工夫した点、その他)

・集会等のレク活動の中で、某マジシャンのやっていた頭グルグルを作成し、おこなったところ、不思議がる生徒や笑顔になる生徒がいた。集会活動でのギヤグネタなどがわかる生徒には最適であり、また生徒自身もおこなうことができる。（貸出可能）



教材・教具 紹介用紙

団体名：小・中・Ⓐ・Ⓑ・有馬・相模向陽館

学部

グループ

作業班

その他

教材の名称： ねぷた (灯籠)

使用目的 : 美術 (集会活動他)

教材の説明：(効果が認められた点、工夫した点、その他)

・今学期の美術の授業で作成した。障子紙に生徒一人一人が作成した。各々の作品を貼り合わせて大きな灯籠とした。中にライトやスピーカーを入れることもでき、お祭り時の展示や鑑賞、練り歩きなどで、お祭りの雰囲気を演出できる等、様々な楽しみ方ができた。(1学期の終業式でも、思い出発表の中で披露させていただいた。)

授業で作成した作品を、生徒が様々な形で長期にわたり楽しめることは良いと感じる。



## 教材・教具 紹介用紙

団体名：高B1年

教材の名称： みんなの家をつくろう ～ダンボールハウス～ 【美術】

使用目的：①多様実態の生徒が自分のペースで関わる構造（分業・並行作業）により、安心して参加できる  
②ローラーの特性を活かせる教材設定

教材の説明：(効果が認められた点、工夫した点、その他)

### 【効果が認められた点】

#### 1. 創造性の発揮

- 生徒は自由に色や模様を考えながらローラーで塗ることで、自分なりの表現を楽しんでいた。模造紙というキャンバスが広く用意されたことで、大胆な構成や色使いが可能となり、一人ひとりの個性が現れた。

#### 2. ダイナミックな表現の実現

- 筆ではなくローラーを使ったことで、大きな面積を一気に塗ることができ、力強くダイナミックな表現が生まれた。手や腕全体を使った動きが促され、美術表現に体を使う楽しさを実感する姿が見られた。

#### 3. 共同制作による一体感と達成感の育成

- 2クラスで一つの作品を仕上げることで、完成時には強い達成感を共有することができた。途中経過でも「あと少しで完成だね」などの声が自然に生まれ、仲間とのつながりを深める機会となった。

#### 4. 話し合いを通した協調性の育成

- 色の組み合わせや模様のアイデアなどをグループで話し合う場を設けたことで、「自分の考えを伝える」「相手の意見を聞いて受け入れる」といった協調的なやり取りが見られた。お互いの意見を尊重しながら、折り合いをつけて決めていく力が育まれた。

### 【工夫した点】

#### 1. 模造紙を使用し、壁紙として貼る方法に変更

- ダンボールに直接塗ると塗料が染みて強度が落ちる恐れがあったため、模造紙に塗ったものを壁紙として貼り付ける方法を採用。これにより、乾燥しやすく、色の発色も良くなり、作業も安全に行えた。

#### 2. 分業制による作業の効率化と役割意識の醸成

- 壁部分担当、屋根部分担当など役割を分けて作業を行うことで、同時に複数の工程が進行し、スムーズに制作が進んだ。生徒それぞれが自分の役割に責任を持って取り組む様子が見られた。

### 3. 実物感のあるサイズ設計

- ・ダンボールハウスは「大人1人が入れる大きさ」に設計し、単なる模型ではなく“入れる空間”を意識することで、生徒の関心が高まり、「家をつくる」ことへの実感やリアリティを得ることができた。

### 4. 道具（ローラー）の特性を活かした表現活動

- ・ローラーは広範囲を素早く塗れるだけでなく、転がすスピードや力加減によって模様や濃淡が変わることで、多様な表現が可能な道具。活動前に実際に試してみる機会を設け、使い方の工夫を自分たちで発見するよう促した。



## 教材・教具 紹介用紙

団体名：小・中・A・⑩・有馬・相模向陽館 2年

教材の名称： バドミントン【体育】

使用目的： 全ての生徒が楽しくバドミントンをすることができる

教材の説明：(効果が認められた点、工夫した点、その他)

＜活動への思い＞

・シャトルを目で追うことが苦手な生徒は、シャトルが飛んできても上手く対応することができない。また、通常のラケットは柄が長いため、距離感を正確につかめず、打ち返すことが難しい。  
まずは手でキャッチする練習から始めるが、距離感がつかめずにシャトルをこぼしたり、滑らせたりするが多く見られる。そのため、「目でシャトルを追う」ことを目標に活動を検討した。

＜工夫点＞

●活動のスモールステップ化

「できた」という実感が得られるよう、活動をスモールステップで構成したことで、生徒たちが自信を持って取り組めるようにした。

(1) マジックテープをつけた手袋とシャトルを用意した。

落下点に手を構えるだけで、キャッチできるようにした。

①両手でキャッチ → ②片手でキャッチ

(2) 柄が短く、ラケットの面が大きいラケットを用意した。

シャトルの落下点にラケットを構えるだけで、自然と打ち返せるようにした。

## 教材・教具 紹介用紙

団体名：小・中・A・B・**有馬**・相模向陽館 1年 グループ 作業班 その他

教材の名称：Weekly Calendar

使用目的：週予定

教材の説明：(効果が認められた点、工夫した点、その他)

工夫した点

- ・毎週月曜日（週の初め）に、自分自身の1週間の予定を確認して記入する。
- ・記入したものをファイリングして、自分がいつでも確認できる場所に保管する。
- ・行事や面談の予定、プライベートの予定などを自分の手元で確認できるようにして見通しを持って生活できるようにした。

効果が認められた点

- ・これを使って予定を確認する生徒が見られた。

その他

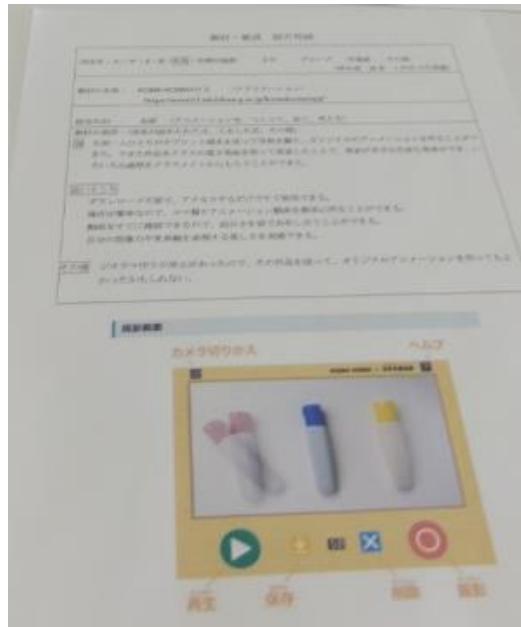
- ・今後、スケジュール帳や手帳などで予定を管理できるようにしていかせたい。

### Weekly Calendar

名前( )

( )日 Mon/月	( )日 TUE/火	( )日 WED/水	( )日 THU/木	( )日 FRI/金	( )日 SAT/土	( )日 SUN/日





## 教材・教具 紹介用紙

団体名：小・中・A・B・**有馬**・相模向陽館 2年 グループ 作業班 その他  
(昨年度 高B 1年生での実施)

教材の名称： KOMA KOMA×日文 (アプリケーション)  
<https://www21.nichibun-g.co.jp/komakoma/app/>

使用目的： 美術 (アニメーションを、つくる、見て、考える)

教材の説明：(効果が認められた点、工夫した点、その他)

**効果** 生徒一人ひとりがタブレット端末を使って写真を撮り、オリジナルのアニメーションを作ることができた。できた作品をクラスの電子黒板を使って発表したことで、発表が苦手な生徒も発表ができ、いろいろな感想をクラスメイトからもらうことができた。

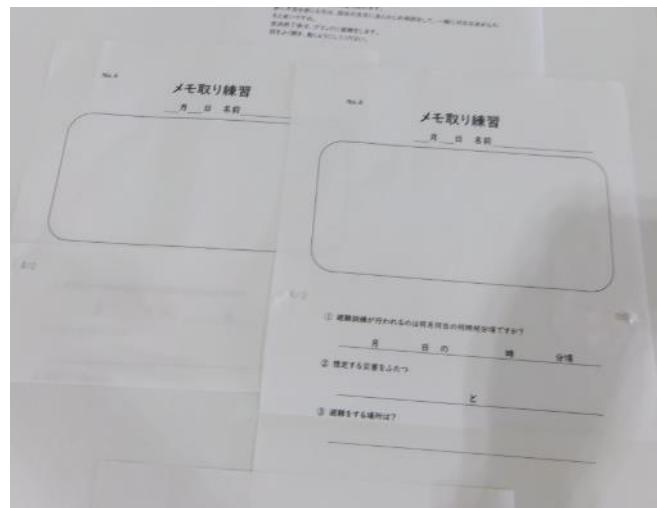
### 良いところ

ダウンロード不要で、アクセスするだけですぐ使用できる。  
操作が簡単なので、コマ撮りアニメーション動画を簡単に作ることができる。  
動画をすぐに確認できるので、面白さを皆で共有し合うことができる。  
自分の想像力や世界観を表現する楽しさを実感できる。

**その他** ジオラマ作りの単元があったので、その作品を使って、オリジナルアニメーションを作ってもよかつたかもしれない。

## 撮影画面





## 教材・教具 紹介用紙

団体名：小・中・A・B・有馬・ <b>相模向陽館</b>	1年	グループ	作業班	その他
教材の名称：メモ取り練習				
使用目的：話を聞きながら、要点のみを書きだす練習を積み重ね、日常生活や現場実習で活かす。				
教材の説明：(効果が認められた点、工夫した点、その他) 生徒の活動 ・教員からの話を聞き、メモを取る。下半分を開き、設問に答える。 ・読み上げから答え合わせまで、15分程度で終わるため、集中が続かない生徒でも負担が少なく取り組めるように工夫をした。 ・週に1・2回程度、継続して行うことで、メモ取りの習慣が付くことが期待できる。 ・「日付」「時間」など要点の聞き取りができる。 ・話をしっかりと聞こうとする姿勢が見られ、日常生活にも活かされる場面も増えてきた。				



## 教材・教具 紹介用紙

団体名：小・中・A・B・有馬・相模向陽館 年 グループ 作業班 その他

教材の名称：じゃんけんタイムバトルカード

使用目的：ゲーム感覚で時計や時間の仕組みを知る

教材の説明：(効果が認められた点、工夫した点、その他)

・ルール

2時間など時間をHP（体力）とし開始する。じゃんけんの代わりに互いにじゃんけんカードを出し、買った方がカードに書いてある説明をみて自分の持ち時間（HP）が増減したり、相手のHPを減らしたりすることができる。HPが多く残っている方が勝ち。

・効果について

時計のアプリや模型等を各自で使用しながら行うことで、時間の逆算や12をまたぐ分針の繰り上がり、繰り下がりを、短針・長針の関係とともに見ながら学習することができた。